

## 第44回

# 子ども郷土研究の入賞作品を紹介します

子ども郷土研究は、調査・研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、郷土「つちうら」への理解を深めることを目的に実施しています。今回は、「論文の部」と、今年度から新たに募集を行った「新聞の部」、それぞれで最優秀賞に選ばれた作品を紹介します。（一部省略）

すべての応募作品を、2月20日(日)まで上高津貝塚ふるさと歴史の広場で展示しています。

☎上高津貝塚ふるさと歴史の広場 (☎826-7111)

### 最優秀賞

#### 論文の部

#### 土浦の縄文人は

どのような暮らしをしていたのだろうか

右朧小 4年 清水春香さん



#### 新聞の部

#### みんなにも知ってほしい！～土浦の歴史～

神立小 6年 渡辺 栞さん



### 優秀賞

論文の部	土浦藩は最先端の教育都市だった!? ～郁文館と天章堂での教育から～	土浦一中 8年	木村美友さん
論文の部	私の住んでいる田村町のレンコン 「今と昔」	土浦五中 7年	吉田 尊香さん
新聞の部	かすみがうら 今と昔をくらべて	都和小 3年	石川 楓さん
新聞の部	飛行船と土浦市の歴史	土浦五中 7年	佐藤頼斗さん

### 優良賞

新聞の部	土浦の三大有名人	神立小 4年	武藤平汰さん
新聞の部	りんりんロード	神立小 6年	石川 栞さん

### 学校賞

土浦第五中学校

論文の部 最優秀作品

## 土浦の縄文人はどのような暮らしをしていたのだろうか

右舂小 4年 清水春香

### 1 研究の動機

「あ、なんかあるぞ。」私は、右舂のまりやま新町に住んでいます。新町公園近くのお墓で、私は1片の土器片を拾いました。今から3年前のことです。父は、その土器片が縄文時代のものだと教えてくれました。私は、家の近くに縄文人が住んでいたのかもしれないと考え、なんだかとても不思議な気持ちになりました。このことがきっかけで、私は縄文時代に興味を持ち、研究テーマとすることにしました。

### 2 知りたいこと

- (1) 私が拾った土器は何年前のものか。
- (2) 新町公園近くの墓地になっている所に、かつて縄文の人達が暮らしていたのか。
- (3) 土浦市ではどのような縄文時代の遺跡が見ついているのか。
- (4) 縄文人たちはどのような暮らしをしていたのか。
- (5) 貝塚からどのようなことが分かるのか。
- (6) 縄文時代の土浦はどのような自然環境だったのか。

### 3 研究の方法

- (1) 上高津貝塚ふるさと歴史の広場を訪問し、学芸員の方に、私が見つけた土器を見てもらう。そして、どのような土器なのか教えてもらう。
- (2) 土浦の遺跡の発掘報告書を読む。
- (3) 「土浦市遺跡地図」で、私の住んでいる地域の遺跡の分布を把握する。
- (4) 図書館で縄文時代の本を借り、縄文時代の人々の生活の全体像を把握する。
- (5) いせきびあ茨城の講座「貝塚のひみつをさぐる」に参加する。

### 4 研究の内容

私が拾った土器片については、上高津貝塚ふるさと歴史の広場の学芸員である亀井さんに土器片を見てもらいました。すると、縄文時代中期の土器片だということが分かりました。

また、新町公園の墓地は、縄文土器片が採集できる場所として土浦市の遺跡地図に載っていることを教えてもらいました。

土浦市遺跡地図を眺めると、私の家の近くには「摩利山遺跡」や「摩利山貝塚」という名前を確認すること

ができますし、父からは、私の住所のかつての大字名が「前谷」だったという事を教わりました。これらのことから、かつて私の家の周辺まで海が迫っていて、貝を採ることができたのかもしれないと思いました。

これまで調べてきたことをもとに、私が住んでいる右舂の自然環境を考えてみました。台地より低い低地には、湧き水が流れていて水を手に入れることができたでしょう。もしかしたら、ヤマトシジミのような淡水と海水が入り混じる汽水に生息する貝がいたのかもしれない。

### 5 研究を通して考えたことや感じたこと

1つ目は、縄文人がどのような場所に集落をつくるかについてです。それは生きるための食料と水が確保できる場所であり、かつ安全な場所です。また、ある夏の夕方、商業施設に買い物に立ち寄ったのですが、そこから見える夕焼けはとても美しいものでした。縄文時代の人々も同じような光景を見ていたのかもしれませんが。この眺望の良さも集落をつくる理由だったのではないのでしょうか。

2つ目は、昔の自然環境をどのようにして復元するのかについてです。貝塚から見つかった貝や魚・動物の骨で昔の自然環境を復元できることに驚きました。

今回の研究を通して、私の家の近くには縄文人が住んでいたことや、その当時の自然環境が分かりました。今後も、地域にはどのような歴史があったのか、興味を持って調べていきたいです。



学芸員の方に話を聞きました



いせきびあ茨城の講座で、貝を分類しました

新聞の部 最優秀作品

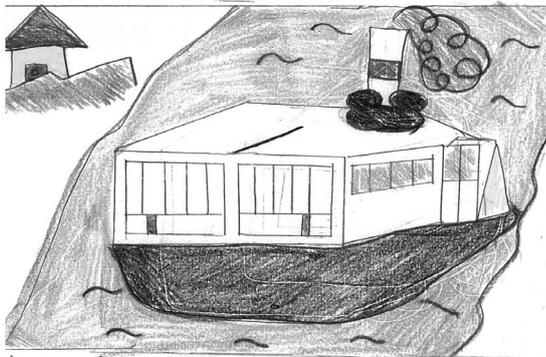
# みんなにも知ってほしい！～土浦の歴史～

神立小 6年 渡辺 菜

# みんなにも知ってほしい！ ～土浦の歴史～

6年2組  
渡辺 菜

おどろき！  
昔の土浦



明治二九（一八九六）年には、鉄道が土浦から田端まで開通されました。土浦周辺でも段々浦海軍航空隊予科練、白音寺が開設され、土浦は「海軍の町」となります。そのようななか、太平洋戦争が始まる。前年の昭和十五（一九四〇）年に、土浦町と真鍋町が合併し、土浦市が誕生します。

江戸時代に築かれた土浦城のうち、本丸・二の丸跡にあたる部分が公園として整備されました。当時は掘り割りの本丸が水に浮かぶ「亀」の姿に似ていたことから「亀城」と呼ばれるようになりました。櫓門は公園の象徴になっています。ほかにも復元されたものがたくさんあります。

行ってみよう！  
土浦の歴史が分かる！  
オスス×スポット  
●亀城公園（土浦中央二丁目）

豊やかな自然環境に恵まれ、太古の昔から人間の生活の場となってきた土浦には、先人の足跡が数多く残されています。多くの文化遺産、歴史をしのばせる伝説の地や、旧水戸街道、都市の喧騒の影に「ひっそりと息づく史跡の数々」。また、路地裏の落ち着いた家並みなど、遠い昔を想いながら旧街道や路地裏をそぞろ歩きしてはいませんか？

感想  
土浦にこんな面白い歴史があることを知らなかったのが、新しい発見が出来て良かったです。機会があれば歴史を知りたいです。

●上高津貝塚（いるさと歴史の広場）  
（土浦市上高津一八四三）  
縄文時代後期の貝塚で、晩期の貝塚で、階段ヶ浦沿岸最大規模です。土器、骨角器などが発掘された。この貝塚は、保存状態も良く、昭和五二年に国の史跡指定を受けました。隣接する考古資料館には、これらの出土品が展示されています。

●等覚寺の銅鐘（土浦市大手町四一六）  
元和八（一六二二）年、徳川秀忠が訪れたといわれる由緒ある寺。鋳頭、鋳師の文字が刻まれており、国指定重要文化財になっています。

